

前週例会（3月5日）レポート

会長報告

- 今日は本当にお天気が良いですが、職場例会という事でここ高松上下水処理施設にお集まりいただきました。日頃、なかなか足を運ぶ場所ではありません。この施設は人間でいえば血液を集めて浄化するところ、腎臓みたいなところです。今回のこの機会に勉強をし理解を深めて頂ければと思います。

移動例会「高松市下水処理場」

○「高松市下水道事業の現状と課題」 高松市上下水道局 次長 土居譲治様

〈下水道事業の概要〉

汚水をキレイな水に戻し、浸水からも守る。下水道は、大きな使命と役割があります。

家庭や工場などから、日々、排出される汚水や排水は、必ず、きれいに処理して川や海に戻さなければなりません。汚水や雨水を街にあふれさせることなく、下水道管で下水処理場まで運び、きちんと処理する。これらは、私たちの快適な暮らしや美しい町づくりを支える大きな役割を果たしています。道路の下に隠れて見えないけれど、下水道は欠かせない存在なのです。

下水道の役割

下水道は、衛生的で快適な生活に不可欠な“汚水対策”の役割と、大雨や洪水などから街を守る“浸水対策”の役割を担っています。

- 美しい自然……汚れた水を下水処理場できれいな水にして海に戻すので、水質保全と共に、美しい自然を守ることができます。
- 快適な生活……下水道が整備された地域は、汲み取り便所から水洗トイレへの切り換えができるようになり、悪臭のない清潔でさわやかな暮らしが実現します。
- 安全な街……大雨や台風の場合には、雨水を下水道管に集めて、街からすばやく排出することができます。また、下水道管を張り巡らせることで浸水の被害も少なくなります。
- きれいな街……汚れた水が、水路や水たまりに溜まると悪臭や蚊・ハエなどが発生して不衛生になります。下水道で汚水を排除することで、街の美化と共に伝染病も防ぎます。

高松市の下水道処理区域は、都市生活の重要な生活基盤として拡大を続けました。平成17年度には、近隣6町と合併し、東部・牟礼・庵治、そして高松西部処理区（香川県が事業主体である香東川流域下水道事業の関連公共下水道事業）の4処理区となり、それぞれの処理区に合わせた整備を行っています。

現在、旧市街化区域および市街化が予想される区域について下水道の整備を行っており、約60%の下水道普及率を達成しています。また、平成20年3月に策定した「第3次高松市生活排水対策推進計画」においては、生活排水による河川の水質汚濁が進行していることから、平成27年度までに、現下水道事業認可区域の整備をおおむね完了させることを目標としています。

また、合併に伴い流域下水道は、平成28年度から高松市の単独公共下水道として移管される予定です。

〈経営の基本理念(5つ)〉

【基本理念】

- 安全・安定・安価
- 快適・安心
- お客さまとの協働・信頼
- 効率化・コスト削減の徹底
- 持続可能な水環境の形成



【基本(重点取組)目標】

- 公営企業としての持続可能な安定した経営
 - ・現行料金水準の維持を基本とした適正なお客さま負担
 - ・上下水道組織の統合メリットを生かした効率的運営
- 災害に強いライフラインの構築
- 再生可能エネルギーの積極的導入による環境共生社会への貢献

